

# 効果的な捕獲その2\_1 わな装置の適切な運用 ~箱わな編~

(基本姿勢は「学ばせず、焦らず、逃さず」、親子丸ごと捕獲で被害を断つ!)



・箱わな捕獲の主な対象獣種であるイノシシを例に、被害を及ぼす個体(群)を確実に捕獲する方法について解説します。

## 1. 箱わなが避けられる原因 ~半端な捕獲が「頭のいい」イノシシによる被害を増やしています~

●幼獣ばかり捕っても...



半端な捕獲ばっかしていると  
被害は続くよどこまでも✖

独立前の修行だ  
オイラはこっち  
荒〜らそっと♪

若い雄は秋頃から次第に別行動

安全なトコ食べて  
増えましょ♪

雌成獣

若い雌

雌同士は親子で長期間行動  
(大群になる恐れも●)

●一部の幼獣と成獣が残っても...

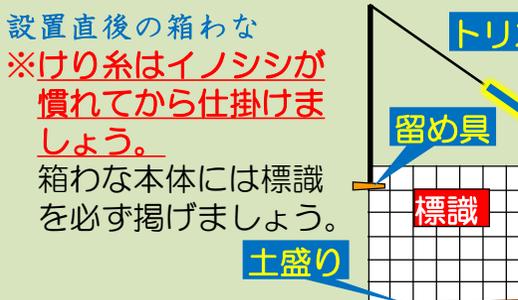


- ・箱わなは避けるものと学習した「頭のいい」イノシシが増加し、親子で被害を増やし続けます。
- ・再び幼獣を得た成獣や、半端に生き残った親子が別の地区に移り被害が拡大する可能性があります。

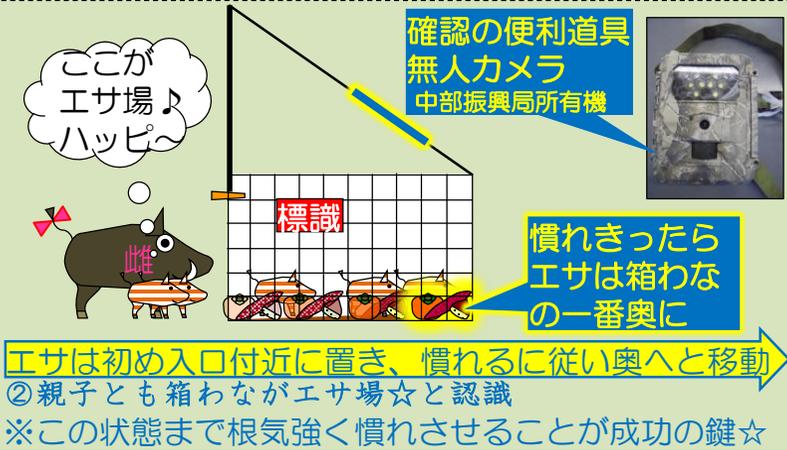
箱わなで確実に捕獲  
する方法は裏面に

# 2. 慣らして親子丸ごと捕る！ ～イノシシ親子が箱わなをエサ場にするまでが我慢のしどころ～

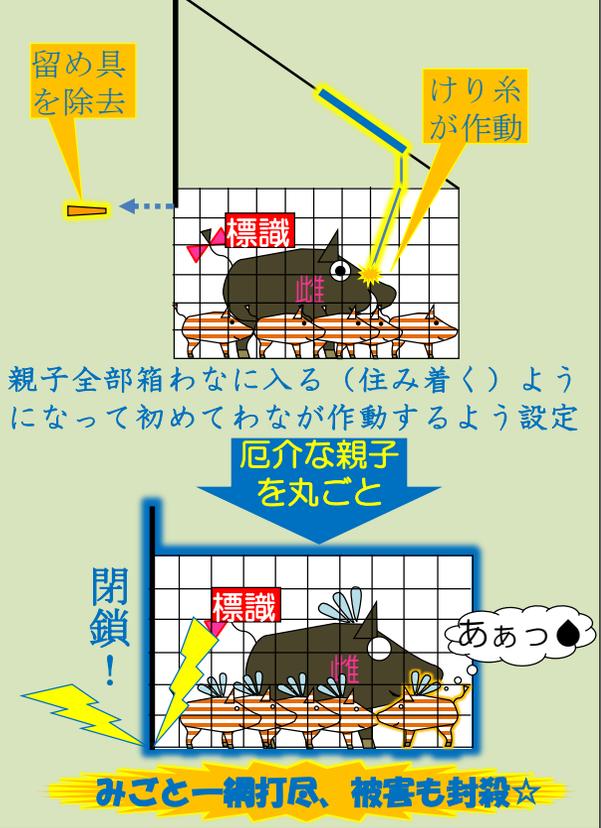
## 捕獲までの流れ (1) エサ場の制限



## (2) 箱わなへの誘導、慣らし



## (3) けり糸を仕掛け留め具を外し、いよいよ捕獲の実行！



- ・箱わなを「危険物だ！」と学習した「頭のいい」イノシシを増やさないことが、親子丸ごと捕獲の要点です。
- ・イノシシは好んで箱わなに接近しません。箱わな（及び獣道）にしかエサがない環境を作り、箱わなの近くに行かせることが重要です。
- ・獣道沿いや箱わな内のよせエサを定期的を確認し、減り具合が悪い、または腐ったまま放置されている場合は置き方を変えてみましょう。
- ・捕獲後の死傷事故防止のため、箱わなの運搬や止め刺しは複数人で慎重に行いましょう。

お問合せ先：大分県中部振興局 大分市大手町3丁目10番1号（大分県庁舎別館4階）  
 農業被害・集落環境対策 生産流通部 電話（代表）097-506-5796  
 林業被害対策・狩猟免許 農山漁村振興部森林管理班 電話（直通）097-506-5749